



2022年10月1日発行
1952年5月13日発刊
毎月1日（月刊定価1部60円）
（購読料はYMCA会費に含まれています）
公益財団法人名古屋YMCA
〒464-0848
名古屋市千種区春岡1丁目2番7号
TEL052-757-3331 FAX052-757-3332
●発行人 中村 隆
●編集人 坂本清則

YMCA News

10

スポーツの秋 ～サッカーを通して～

サッカークラス担当 **安東 寿人** (ジョーズリーダー)

夢を追いかけて

私自身はサッカーアニメ「キャプテン翼」に大きな影響を受けて、幼稚園の年長時にサッカーに夢中になりました。学生時代は常にサッカーと共に過ごし、中学生のときにJリーグが創設されたことにより、プロサッカー選手になりたいという夢を強く意識して、高校卒業後はプロサッカー選手になりたいという思いと、将来はサッカー指導者になりたいという思いの両方を実現するための最適な進路先ということで筑波大学体育専門学群へ進学し、蹴球部での選手活動に励みながら、同時に保健体育科の教諭免許の取得、サッカーコーチングライセンスの取得など将来に備えていました。

大学卒業後は残念ながらJリーグのチームに入ることは叶わず、ドイツに渡りセミプロの選手として26歳までプレーして現役選手への未練を残すことなく引退して帰国しました。

帰国後は中学・高校時代を過ごした名古屋に戻り、愛知FCの中学生年代チームの監督を2年務めた後、Jリーグのヴィッセル神戸のアカデミーコーチとして幼児から高校生まで幅広い年代の子どもたちの指導を12年間してきました。その後は石川県に新設された小学生年代のクラブチームの監督を3年間務めましたが、石川県では単身赴任であったため、家族の暮らす名古屋でサッカーの指導をしたいと思っていたところ、良きご縁をいただき2022年4月より名古屋YMCAのサッカークラスで指導させていただくことになりました。



自己肯定感を高めていきます。また、上手くプレーし、試合に勝つためには味方と協力する必要があるため、自然と協調性やコミュニケーション能力も高まっていきます。

私が子どもたちのサッカーを指導していて、常に心掛けているのは「サッカーを通して、人間教育をする」ということです。上手くいかないときに忍耐する力や、仲間を尊重する気持ちを備えた人間になってほしいと願いながら日々のサッカークラスでは指導しています。

サッカーと人間形成

サッカーには「子どもを大人にし、大人を紳士にする」という格言がありますが、子どもたちはサッカーに夢中になって楽しくプレーしているうちに、体力や技術が上達していき、



サッカークラスの指導風景

YMCAで今後挑戦していきたいこと

秋は「スポーツの秋」とも言われる季節です。サッカーに関して言えば、今年の11月には4年に1度の祭典であるワールドカップがカタールの地に開催され、日本代表チームも世界の強豪国であるドイツ、スペインと対戦します。日本代表選手たちのプレーや世界のスーパースターのプレーを観戦することで、これまでサッカーをしていなかった子どもたちが新たにサッカーをしてみたいという気持ちになり、YMCAのサッカークラスでサッカーを始める子が増えてくれることを期待しています。

また、YMCAはバスケットボールクラスもありますので、バスケットボールとサッカーの合同練習なども企画していきたいですし、サッカークラスの子どもたちでキャンプやスキーなどもやってみたいですね。

報告

第9回名古屋YMCA大会

もっと知って繋がろう！今から未来へ
～ALL NAGOYA ALL TOGETHER～

9月10日(土)、第9回名古屋YMCA大会を開催いたしました。過去2年のYMCA大会は、コロナ禍によるオンライン開催となりましたが、今年度は対面での開催となり、Face to Faceの交流の時となりました。

開会礼拝は、日本キリスト教団南山教会・村山盛芳牧師により行われました。「幸せなら手をたたこう」という説教題により行われた礼拝では、戦後間もない時代に、日本のYMCAからワークキャンプでフィリピンへ派遣された若者によってこの歌が誕生した、という興味深いお話を聞き、共に祈りの



時を持つことができました。

今年度の名古屋YMCA大会には、会員、スタッフ、リーダー、ワイズメンズクラブ等の会場参加者58名、ZOOMによるオンライン参加者9名を加え、合計67名の方々にご参加いただきました。

メインテーマである『今、そして未来へ』というプログラムでは、名古屋YMCAの各拠点スタッフから事業・取り組みに関するプレゼンテーションが行われ、名古屋YMCAに集う一人ひとりがお互いを理解しあう貴重な時となりました。

コロナ禍からアフターコロナへ、私たちの繋がりや共感とともに、新しい取り組みへのスタートラインに立てることを願います。そして、名古屋YMCAに関わるすべての方々が、未来へ向かう第1歩として、共に歩んでいきたいと思います。

(万福寺 昭美)

永年会員感謝表彰者(敬称略)

60年表彰	寺本英郎	30年表彰	鈴木賢治、土屋倭子
50年表彰	池野輝昭	10年表彰	嶋崎英子
40年表彰	桐山恵子、福田忠徳	🍁🍁🍁🍁🍁🍁🍁🍁	

ユースボランティア認証(敬称略)

小笠原彩(ねこぴん)	仁瓶明里(アーチ)	鈴木翔子(スノーピー)
近藤梨々香(いくら)	加藤愛(ゴールド)	福原大我(あかい)
市川実季(アゲハ)	橋本佳奈(カフカ)	大町公祐(タウン)
山崎涼香(ぼむぼむ)	三城歌織(ファンタン)	石田帆花(ナッブル)
佐賀みゆ(パイン)	高橋鈴音(むぎ)	久野颯(トミー)

報告

2022年度
YMCA国際協力募金

YMCAの国際協力へのご支援に感謝申し上げます。2022年度の国際協力募金は、日本YMCA同盟を通じたウクライナ避難民支援を用途として実施させて頂きました。ウクライナ侵攻が始まった直後の3月から実施された第一次ウクライナ支援募金と合わせ、名古屋YMCAに関わる多くの方が募金にご協力下さいました。

6月5日(日)に実施した街頭募金には、コロナ禍にも関わらず多くの子ども会員と保護者様、ワイズメンズクラブの皆様、リーダー、スタッフ約60名にご参加いただきました。名古屋駅エリアと栄エリアに分かれ、戦火を逃れて避難する人々の苦しみに思いを馳せ、募金活動を行いました。また、各館窓口には平和へのメッセージが入った募金封筒を、多くの方がご持参くださいました。

日本YMCA同盟がヨーロッパYMCA同盟・ウクライナYMCA同盟との連携により日本への避難をサポートした方は、8月末で70組154名となり、来日後の生活支援者数は557名となりました。また、侵攻直後は来日支援が中心でしたが、来日後の就労、教育、健康など個別の生活支援等に支援のニーズが変化してきているとのことです。



侵攻が長期化するなかで支援を継続するため、日本YMCA同盟では2023年3月末を目途にウクライナ支援指定募金を承っております。

(広瀬 謙一)

◎第一次ウクライナ支援募金

実施期間3月上旬～4月30日 募金合計額186,083円

◎国際協力募金(第二次ウクライナ支援募金)

実施期間：5月2日～8月31日

募金合計額361,678円(街頭募金111,284円含む)

募金総合計額：547,761円

告知 2022 インターナショナルチャリティーラン

YMCAインターナショナルチャリティーランは、心身に障がいのある子どもたちを支援すると同時に、この活動を通じて『真に豊かな社会』への関心が高まることを願い、全国のYMCAで開催されています。多くの個人、企業の皆さまから大会を通じてお寄せいただきました支援金は、障がいのある子どもたちのためのプログラムに用いられます。名古屋のチャリティーランは今年で29回目を迎えます。走って支援、寄付して支援。皆さまのご参加、ご支援をお待ちしております！

＊詳しくはお問い合わせください。(担当 東田 美保)

《予定》

- ①WEEK 2022年10月1日(土)～30日(土) 記録を投稿
②1 DAY 2022年11月5日(土) 午前 於：名城公園

告知 120周年記念 第29回チャリティーゴルフ2022

今年も鈴鹿カンツリークラブを会場に、11月10日(木)チャリティーゴルフを開催いたします。チャリティーの目的は、貧困児童対策としての学童キャンプ支援、留学生支援、東日本大震災を覚えて、の3点です。気の合う仲間とゴルフを楽しみながら、その一部を社会の課題解決の一助とする大会ですので、趣旨をご理解いただきぜひご参加ください。

今回は名古屋YMCA120周年に因んで120名の参加を目指していますので、一人でも多くのご参加をお待ちしております。参加者にお渡しする賞品も募集中！地元の名産やご自宅にある逸品等ご寄贈いただけると幸いです。

(実行委員長 深谷 聡)

告知 第46回 平和の使者 クリスマスカードコンテスト

平和の使者クリスマスカードコンテストも今年で46回目を迎えることになりました。多くの方々に支えられ、今年もこうして無事に迎えられることを心より感謝いたします。

このコンテストでは、平和への願いを込めたクリスマスカード作りを通して、世界の平和と人々の幸せについて考えます。毎年ご参加いただいている方も、今回が初参加になる方も、クリスマスと平和に願いを込めて素敵な作品を描いてみませんか。

また、入賞作品は市民ギャラリー矢田にて展示され、より多くの方々に鑑賞いただきます。「平和の使者 クリスマスカードコンテスト」へのご参加をよろしくお願いいたします。詳細は別途ご案内、もしくは名古屋YMCAホームページをご確認ください。(担当 谷口 みはる)

告知 クリスマスキャロル in JRタワーズガーデン2022

コロナ禍で2年間中断(代わりにコンサートを実施)されていたクリスマスキャロルが、今年は3年ぶりに行なわれます。サンタの衣装で歌う聖歌隊には、子どもから高齢者まで誰でも気軽に参加できるようになりましたので、ご家族での参加もぜひお待ちしております。(担当 坂本 清則)

日時：2022年12月17日(土)17：00～17：30

場所：名古屋駅 タワーズガーデン

＊詳しくは各YMCAに用意されている参加者募集要項をご覧ください。



総主事コラム

腱鞘炎

8月中旬、左手首に違和感を覚え、時々激痛が走ります。痛みが続くので整形外科に行き、診察してもらおうと腱鞘炎とのこと。手首を酷使した覚えがなかったのですが、よくよく考えてみたらキャンプ場の草刈りをエンジン式の刈払機で長時間していたことを思い出しました。エンジンの調子があまりよくなく振動が大きかったのに、無理やり力でコントロールして太くなった笹と格闘した結果です。親指を内側に曲げることすらできず、手首を伸ばすと激痛が走るまで悪化し、痛む患部に注射を打ってもらい何とか日常生活を送ることができるようになりました。キャンプ場で日焼けし、草刈りで手首を痛めたのに、多くの方からゴルフのやり過ぎでしようと言われるのは日頃の行いの成せる

業でしょうか。右利きの私でも左手が使えないと不便なことが多く、無意識に左手を使うたびに今も激痛が走ります。聖書は、「目が手に向かって「お前は要らない」とは言えず、また頭は足に向かって「お前たちは要らない」とも言えません。それどころか、体の中でほかよりも弱く見える部分がかえって必要なのです。(コリント12-21)」と、教えてください。

社会では本当に悲惨な出来事が今も繰り返されています。いじめによる自殺や知的障がい者入所施設で繰り返される虐待。政治家の不誠実な対応や国と国の争いすら解決の糸口が見いだせません。“一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。(コリント126)”ひとり一人の尊厳が大切に守られる世界の実現を願ってやみません。(中村 隆)

報告

日本語学院 第2回文化祭

「夜の虹 星の星」

日本語学院では、8月31日に西生涯学習センターで第2回文化祭を開催しました。学生が考えたテーマ「夜の虹 星の星」には、「私たちは見えなくても輝いている」というメッセージが込められています。

最初のプログラムは「クラス紹介」で、クラスの雰囲気やクラスメートについて発表し合いました。次の「全校スピーチ大会」では、クラス大会を勝ち抜いた5名の代表者が練習の成果を披露しました。優勝は、バイクの魅力について熱く語った台湾のルさん。他の参加者も、これまで一番のスピーチをしました。

最後の「学生によるパフォーマンス」では、学生たちの、普

段の教室では見られない一面を見ることができました。ネパールの学生たちがダンスを披露したり、ミャンマーの学生たちが長渕剛の「乾杯」をミャンマー語で歌ったり。どれも感動的でした。



参加した一同が、大いに楽しんだ文化祭。学校としての一体感が、よりいっそう高まったのではないのでしょうか。

(犬飼 英男)

報告

300回記念
名古屋YMCA早天祈祷会

名古屋YMCA早天祈祷会が300回を迎えました！

第300回目となる名古屋YMCA早天祈祷会が、去る9月6日(火)に開催されました。当日の奨励はこの早天祈祷会の実行委員長でもあり、名古屋YMCAの名誉



理事でもある西村清牧師でした。“祈ること”と題したお話は、新約聖書フィリ

ピの信徒への手紙4章6節～7節*を引用しつつ、個人としても団体としても心から祈ることの大切さを伝えるものでした。

毎月の早天祈祷会では、幼児から高齢者までの幅広いプログラムが楽しく安全に行なわれること、そしてプログラムを運営するスタッフの健康が守られるようにと祈っています。これからも名古屋YMCAの活動を精神面から支える集まりでありたいと願うものです。

(坂本 清則)

*「どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。」

維持会員感謝・ご寄付感謝

維持会員
(継続)

(2022年8月24日～2022年9月22日)

藤田 瑠美 長谷川和宏 春日 裕忠 池野 輝昭
牛田賢一郎 船戸 章 船戸菜穂子 水谷 克巳
水谷 里美 小尾 雅彦 小尾 昌代 近藤よし恵

名古屋YMCA120周年記念募金

橋本 啓 若林 将太 福田 義正 荒川 恭次

国際協力(ウクライナ緊急支援)募金

伊藤 遥人 伊藤しおり 八木 武志

匿名有志(南山募金箱) 匿名有志(本館募金箱)

学童キャンプ寄付

浅野真紀子 平尾 泉 藤田 瑠美 近藤真由美

春日 裕忠 かわか つかさ

一般寄付

赤坂 暢穂

早天祈祷会

日時 10月4日(火) 7:45～8:30 会場 名古屋YMCA本館

奨励 日本基督教団東海教会 和田芳子牧師

ワイズコーナー 10月例会の予定

名古屋	10月16日(日) 14:00～	75周年記念例会	KKRホテル 名古屋
名古屋 東海	10月13日(木) 18:45～	卓話「わたしと世界のつながり～エチオピアの森、パラオの海～」講師 空木マイカさん	ラースス ANN
名古屋 南山	10月16日(日) 19:00～	「農場例会」 サツマイモ収穫、ピザパーティー 秋の収穫をして皆でピザを楽しみましょう。 参加費千円どなたでも。荒川会長まで。	ワイズ農園
名古屋 グランパス	10月8日(土) ～9日(日)	日和田クローズキャンプ&火祭りキャンプ	YMCA日和田 高原キャン プ場

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331
YMCAこひつじ保育室 052-757-5530
南山ファミリーYMCA 052-831-6968
南山幼稚園 052-831-8271
神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
発達サポートYMCAつるさと 052-823-2021
かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA
使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2022年度聖句

「主に望みをおく人は新たな力を得
驚のように翼を張って上る。」
(イザヤ書40章31節)